

(第一紙) T13p324c02~

- 1 大集經月藏分第十二諸惡鬼神得敬信品 □□
- 2 尔時護世四天王見无量阿僧祇天龍□
- 3 又乃至迦吒富單那等種種色種種形種種
- 4 欲種種行種種性彼等於諸衆生性无慈愍
- 5 瞋惡僿獷不觀後世畏不入他分无所護持
- 6 數<sup>○</sup>惱刹利乃至畜生奪其精氣食其血肉是
- 7 諸鬼神俱来集已時四天王歡喜踊躍各自
- 8 問其所領大将
- 9 毗沙門天王問散脂夜又大将言此四天□□
- 10 所有夜叉若卵生胎生濕生化生或依城邑
- 11 聚落舍宅塔寺園林山谷河井泉池<sup>冢</sup>間樹
- 12 下曠野田中閑林空舍大海寶洲若地行水
- 13 行空行一切无餘今悉来集世尊所□散脂
- 14 大将言大王此四天下所有□又乃至大海
- 15 寶洲若地行水行空行一切无餘□□□
- 16 在世尊所
- 17 提頭賴吒天王問樂欲<sup>○</sup>闍婆大将言此四
- 18 天下所有<sup>○</sup>軋闍婆餘如上說
- 19 <sup>○</sup>略樓勒天王問檀帝鳩槃荼大将言此四天
- 20 下所有鳩槃<sup>○</sup>荼餘如上說
- 21 毗樓<sup>○</sup>博又天王問善現龍王言此四天下所
- 22 有諸龍摩睺羅伽樓<sup>○</sup>羅諸餓鬼等若<sup>○</sup>生胎
- 23 生濕生化生若依城邑聚落舍宅乃至大海

(第一紙) T13p324c29~

- 1 寶洲若地行水行空行一切无餘今悉来集
- 2 世尊所不善現龍王言大王此四天下所有

---

1 獷<sup>○</sup>獷【大】

2 「數」の右に字(欠損)あり。

3 冢<sup>○</sup>塚【大】 大正蔵に校注なし。

4 軋<sup>○</sup>軋【大】 大正蔵に校注なし。

5 軋<sup>○</sup>軋【大】 大正蔵に校注なし。

6 「略」の右に「毗」の字あり。略<sup>○</sup>毗【大】

7 「勒」の右下に「又」と朱書きあり。

8 茶<sup>○</sup>茶【大】 大正蔵に校注なし。

9 博<sup>○</sup>博【大】 大正蔵に校注なし。

10 「樓」の右に「樓」の字あり。

11 「若」の右下に「卵」の字あり。

- 3 諸龍乃至餓鬼一切无餘今悉來集在世尊
- 4 所<sup>12</sup>
- 5 尔時四大天王釋提桓因娑婆世界主大梵
- 6 天王正辯梵天合掌向佛一心敬礼而作是
- 7 言大德婆伽婆此四天下所有天龍<sup>13</sup>闍婆
- 8 緊那羅夜叉羅刹鳩槃茶<sup>14</sup>毗舍遮摩睺羅伽
- 9 伽樓羅諸餓鬼等若卵生胎生濕生化生若
- 10 地行水行空行一切无餘今悉來集在世尊
- 11 所我等受諸大智人語勸請如來唯<sup>15</sup>願世尊
- 12 哀愍我等諸衆生故令惡衆生得敬信故為
- 13 正法眼得久住故紹三寶種不斷絕故令地
- 14 精氣衆生精氣正法精氣久住增長故又令
- 15 善道及涅槃道八真聖道常不滅壞及增長
- 16 故世尊此閻浮提所有城邑聚落舍宅乃至
- 17 寶洲一切无餘天龍夜叉乃至迦吒富單那
- 18 等隨其所宜分布付囑令護持故今此大集
- 19 一切天王一切龍王乃至毗舍遮王各將眷
- 20 属皆悉來集以彼一切付囑是等令其教授
- 21 憶念攝受同行其法令彼諸天乃至迦吒富
- 22 單那等各於己分護持養育勿自縱捨亦莫
- 23 惱他見惱他者令其遮護不得縱捨令彼各
- 24 於己分發大勇力正護養育若彼發大勇力
- 25 應生歡喜彼則喜樂名稱流<sup>16</sup>布獲大福報尔

（第二紙） T13p325a24～

- 1 時世尊受其勸請慈悲憐愍彼等衆故遍
- 2 觀一切諸來大衆即舉右臂<sup>17</sup>而作是言汝等
- 3 賢首一切大衆各各諦聽我當解說佛出世
- 4 難如憂<sup>18</sup>曇花離人難難如順時香樹聞正法
- 5 難如兩<sup>19</sup>閻浮檀各<sup>20</sup>遇戒定僧為供養難如詣

12 所<sup>12</sup>前【大】 大正藏に校注なし。  
 13 龍<sup>13</sup>乾【大】 大正藏に校注なし。  
 14 茶<sup>14</sup>茶【大】 大正藏に校注なし。  
 15 唯<sup>15</sup>惟【大】  
 16 「流」の右に「流」の字あり。  
 17 「臂（異体字か）」の右に「臂」の字あり。  
 18 憂<sup>18</sup>優【大】  
 19 「兩」の右に「雨」の字あり。兩<sup>19</sup>雨【大】

- 6 大海寶洲於三寶所得淨信難如如意珠
- 7 值遇三寶為布施難如求功德天賢瓶受持戒
- 8 難如牛頭梅檀洲難可得到於衆生所起悲
- 9 愍難如值勇健怨賊執金剛杵難可得度護
- 10 身命知足難如善作阿濕婆迷陀邪若〔可<sup>21</sup>濕／婆者〕
- 11 〔齊云馬也迷陀者寶柱脂<sup>32</sup>也邪若者／祀也為此祀者唯閻浮提王之所能也〕
- 12 諸賢首有十種平等若有衆生具此平等於
- 13 流轉時恒受勝報速能得入无畏大城何等
- 14 為十一者衆生平等二者法平等三者清淨
- 15 平等四者布施平等五者戒平等六者忍平
- 16 等七者精進平等八者禪平等九者智平等
- 17 十者一切法清淨平等
- 18 諸仁者於彼何者衆生平等衆生者謂三界
- 19 所有一切衆生若有衆生自愛己身欲得活
- 20 命求樂離苦應如是學<sup>30</sup>若有丈夫壽者作業
- 21 若善不善自作教他現見受報是故諸仁者
- 22 若求樂離苦彼應如是若身口意作諸善業
- 23 不作惡業若此身若後身自益益他自善善
- 24 他不作惡業諸仁者是名衆生平等
- 25 諸仁者於彼何者法平等法者若有衆生求

〔第四紙〕 T13p325b21～

- 1 樂離苦欣生畏死恩愛不離怨憎不會如此
- 2 之人心海所溺何以故若有衆生計著我者
- 3 生死流轉不見清淨解脫道故是故於法平
- 4 等思惟觀察不離衆生有法不離法有衆生
- 5 如衆生體性即是我體性如我體性即是一
- 6 切法體性如一切法體性即是佛法體性如
- 7 是觀諸法平等時衆生即陰不可得離陰
- 8 不可得和合不可得離和合亦不可得非法非
- 9 非法是人如是得住无相是名法平等
- 10 諸仁者於彼何者清淨平等謂得人身具
- 11 滿十德何等為十一者離下賤家二者不鈍

<sup>30</sup> 〔各〕の右に「金」と朱書きあり。各々金【大】

<sup>31</sup> 〔可〕の右に「阿」の字あり。可々阿【大】

<sup>32</sup> 一脂【大】

<sup>33</sup> 〔學〕の右に「學」の字あり。

- 12 三者不瘧四者諸根不缺五者得男子身六
- 13 者顏容端正七者得好眷屬八者不貧九者
- 14 不為他欺發言有中者<sup>24</sup>多人瞻仰何以教<sup>25</sup>言
- 15 得人身名清淨平等如得人身故得三律儀
- 16 離三惡道能求三乘三種菩提隨所而得云
- 17 何清淨平等若人能得菩提於一切法心无
- 18 所依於一切内外境界心无所依是人不依
- 19 一切法於如无所取見一切法不取内心
- 20 不取外心於二境界極得寂定是人如是正
- 21 見清淨法時不見内外有衆生命者壽者生
- 22 者人者衆數<sup>26</sup>養育作者使作者起者使起者
- 23 受者使受者知者見者是人如是於諸衆生
- 24 得見无我清淨平等无衆生无命无我離欲
- 25 清淨不起邊見如是得入衆生清淨平等如

(第五紙) T13p325c17~

- 1 是得入一切法空无行智印<sup>27</sup>无相无願如是
- 2 得入衆生清淨平等是人以彼法成熟衆生
- 3 而不壞我亦不壞事及不壞財若知一切衆
- 4 生體性平等則知一切法體性若一切法體
- 5 性即是佛法體性是名一切法平等佛法是
- 6 名清淨平等
- 7 諸仁者於彼何者布施清淨平等諸仁者以
- 8 四種布施清淨平等以布施故衆生於流轉
- 9 時恒受勝報速能得入无畏大城何等為四
- 10 一者於一切衆生起憐愍心二者平等心三
- 11 者大慈心四者大悲心此為四種布施清淨
- 12 平等衆生於流轉時恒受勝報速能得入无
- 13 畏大城
- 14 諸仁者於彼何者於一切衆生起憐愍心清
- 15 淨平等若有衆生求樂離苦恩愛不離怨憎
- 16 不會欲得長壽利養名稱富貴五欲應如是
- 17 學如我愛欲<sup>28</sup>重自己身命无有厭足以一

<sup>24</sup> 「者」の右上に「十」と朱書きあり。者||十者【大】

<sup>25</sup> 「教」の右に「故」の字あり。教||故【大】

<sup>26</sup> 「數」の右に「數」の字あり。

<sup>27</sup> 「印」の右に「印」の字あり。

18 切方便无上護持无有價量如是於一切衆  
 19 生一一衆生乃至<sup>38</sup>蟲<sup>39</sup>蟻愛欲<sup>38</sup>重自己身命  
 20 无有馱足以一切方便无上護持无有價量  
 21 我何故於他衆生於他壽者作惱作害奪活  
 22 命具離其命根壞其命根若我於他衆生於  
 23 他壽者生惱離命以離一一命故我當億百  
 24 千世於世世中還<sup>38</sup>被<sup>39</sup>離命受諸苦惱我從今  
 25 日於諸衆生起父母想及男女想乃至<sup>38</sup>蟲<sup>39</sup>蟻

(第六紙) T13p326a13~

1 亦作父母及男女想更不惱害他命亦不奪  
 2 他活命之具不離壞命亦不教他奪其精氣  
 3 及斷命根如是我當億那由他<sup>38</sup>百<sup>39</sup>千<sup>38</sup>劫流轉  
 4 生死於世世中受身命時无能惱害奪活命  
 5 具及離壞命者何以故一切衆生无有非我  
 6 父母兄弟男女等者如是我於一切衆生无  
 7 有非其父母兄弟男女等者以是因緣我曾  
 8 與一切衆生親一切衆生曾與我親我若於  
 9 親而生惱者是所不應所謂惱者我若觸惱  
 10 刹利令彼刹利於己境界國土人民於諸所  
 11 欲不生知足及婆羅門乃至畜生觸惱其心  
 12 令不知足以是因緣共相戰鬪諍論譏毀訴  
 13 訟詔誑妄語互相支解及斷命根是故我今  
 14 於諸衆生休息觸惱及斷命根我以此布施  
 15 清淨平等因緣故於流轉時无能觸惱共我  
 16 鬪戰諍論譏毀訴訟詔誑妄語支解斷命是  
 17 名觸惱  
 18 於彼何者害命彼應如是學一切衆生與我  
 19 親我與一切衆生親我若害衆生命是所不  
 20 應我若作非時風雨亢旱灾雹雨塵闇暄枯  
 21 涸諸水損減花果藥草衆味以是因緣衆生

<sup>38</sup> 愴 || 愴【大】 大正藏に校注なし。  
<sup>39</sup> 蟲 || 虫【大】 大正藏に校注なし。  
<sup>30</sup> 愴 || 喜【大】 大正藏に校注なし。  
<sup>31</sup> 被 || 彼【大】  
<sup>38</sup> 蟲 || 虫【大】 大正藏に校注なし。  
<sup>39</sup> 百千 || 千百【大】 大正藏に校注なし。

22 飢渴四大增動生種種病因其病故而取命  
23 終是故我於一切衆生休息害命以休息故  
24 地味精氣不復隱沒以是因緣令諸衆生離  
25 於飢渴四大不動諸病不生不因於彼而取

(第七紙) T13p326b09~

1 命終我以此布施清淨平等乃至於流轉時  
2 我更不受飢渴病苦是名害命  
3 於彼何者活命之具彼所資身命者應如是  
4 學一切衆生與我親我與一切衆生親我若  
5 於彼奪活命具是不應若奪衆生花菓よも藥くすり  
6 草五穀精氣活命具者令彼衆生食惡花菓よも  
7 藥草五穀衆味精氣令其身心損瘦无力失  
8 念瞋惡輕躁癩惡色多病是故我當隨順  
9 過去諸天仙教於一一花菓よも衆味精氣六十  
10 四分中取一分精氣以活身命餘六十三分  
11 留活衆生令受安樂我令よも以是知足因緣乃  
12 至於流轉時我更不食无味精氣殘害之食  
13 具大威力強記軟心好色无病是名活命之  
14 具  
15 於彼阿よも者離別命若以惡心視諸衆生氣嘘  
16 其身散亂其心於彼節節奪其精氣奪精氣  
17 故令其身心為苦所惱應如是學我與一切  
18 衆生親乃至是所不應我若於親惡心視之  
19 氣嘘其身散亂其心於身支節奪其精氣故  
20 令我親身心得苦以是因緣よも乃至於流轉時  
21 无有非人惡心視我亦不氣嘘我身散亂よも我  
22 心不奪精氣是名離別命  
23 於彼何者壞命若諸衆生為自食故割截支  
24 節盡奪精氣山木高處深水大河推令墮落

34 菓よも果【大】 大正藏に校注なし。  
35 菓よも果【大】 大正藏に校注なし。  
36 獷よも横【大】  
37 菓よも果【大】 大正藏に校注なし。  
38 「令」の右に「今」の字あり。令よも今【大】  
39 「阿」の右に「何」の字あり。阿よも何【大】  
40 「縁」の右に「縁」の字あり。  
41 「亂」の右に「亂」の字あり。

25 若與毒藥使起屍鬼若作厭た蟲た及餘物害若

(第八紙) T13326c04~

- 1 斷飲食或斬其首以斷命根以是因緣汝等
- 2 若自愛己欲得長壽求樂離苦名稱富貴及
- 3 求解脫應如是學我與一切衆生親一切衆
- 4 生與我親若我為自食故奪其精氣割截支
- 5 節乃至斬首是所不應以此因緣乃至於流
- 6 轉時无能斬首壞我命者是名壞命此是清
- 7 淨平等
- 8 諸仁者若復憐愍一切諸衆生故為之積集
- 9 功德智慧斷除一切虛誑幻見得堅固勇猛
- 10 求一切善如説脩行為命因緣於他衆生不
- 11 起惡念於諸衆生不起害心所持禁戒與衆
- 12 生共見衆生樂た染た生歡喜於己樂緣自能知
- 13 常た一切愛事无不能捨於一切法无た恚た惜心
- 14 常怖三界於諸忍事力能堪受信无常相能
- 15 如説行於己有失能自觀察見他有失則生
- 16 悲愍於諸善法无有馱足常發露懺悔得无
- 17 邊迴向能求深法於諸衆生作福田心求馱
- 18 離智於三界獄流轉煩惱能得怖畏勤息衆
- 19 生一切苦惱能求一切佛法能發休息諸惡
- 20 道心於一切法善得安住諸仁者是名世間
- 21 清淨平等
- 22 諸仁者我今當説第一義清淨平等作是
- 23 説已即説呪曰
- 24 多地夜他 夜た咩た夜た咩た 鉢囉た 佉夜咩た 優鉢囉
- 25 佉夜咩た 邪夜咩た 佉夜咩た 蘇婆呵

42 蟲た 大正藏の校注(蟲た虫た(聖))が正確ではない。  
 43 「染」の右に「深」の字あり。染た深た【大】  
 44 「常」の右に「足」の字あり。常た足た【大】  
 45 恚た悋た【大】 大正藏に校注なし。  
 46 咩た【大】 大正藏に校注なし。  
 47 咩た【大】 大正藏に校注なし。  
 48 囉た羅た【大】 大正藏に校注なし。  
 49 咩た【大】 大正藏に校注なし。  
 50 咩た【大】 大正藏に校注なし。  
 51 咩た【大】 大正藏に校注なし。  
 52 咩た【大】 大正藏に校注なし。

(第九紙) T13p326c28~

- 1 説此法門時八百六十万緊那羅<sup>13</sup> 闍婆等
- 2 遠塵離垢得<sup>14</sup>法<sup>15</sup> 法眼淨
- 3 尔時世尊復説呪曰
- 4 多地夜他 瞿竭嚩 夜婆瞿竭嚩 憂婆夜婆
- 5 瞿竭嚩 蘇婆呵
- 6 尔時世尊復説呪曰
- 7 多地夜他 陀羅媿 陀羅陀媿 憂跛陀羅
- 8 陀羅陀媿<sup>16</sup> 蘇婆呵
- 9 説此法門時九百四十万夜叉遠塵離<sup>17</sup>垢得
- 10 法眼淨
- 11 尔時世尊復説呪曰
- 12 多地夜<sup>18</sup>地<sup>19</sup> 阿闍泥 又又阿<sup>20</sup>闍泥 伽又又阿闍泥
- 13 毛囉阿闍泥 又差 蘇婆呵
- 14 説此法門時七千万龍於遠塵離垢法而得
- 15 三昧
- 16 尔時世尊復説呪曰
- 17 多地夜他 呵呵呵呵呵 系杆婆 呵<sup>21</sup>呵呵
- 18 視若視若視若 呵呵呵 蘇婆呵
- 19 説此法門時三百万那由他阿脩羅得不忘
- 20 菩提心三昧
- 21 尔時世尊復説呪曰
- 22 多地夜<sup>22</sup>地<sup>23</sup> 阿<sup>24</sup>奴那 阿那<sup>25</sup>蒲<sup>26</sup>那 阿婆那奴那
- 23 阿婆矣<sup>27</sup>唎<sup>28</sup>夜 阿婆那奴那 蘇婆呵
- 24 説此法門時八万四千頻婆羅鳩槃<sup>29</sup>茶<sup>30</sup>得<sup>31</sup>憍<sup>32</sup>
- 25 樂三昧

53 軋||乾【大】 大正蔵に校注なし。  
54 一法【大】 朱点あり。  
55 「媿」は、後から補ったような字。  
56 塵離||離塵【大】 大正蔵に校注なし。  
57 「地」の右に「他」の字あり。地||他【大】  
58 一阿【大】  
59 「呵」の上に朱点あり。  
60 「地」の右に「他」の字あり。地||他【大】  
61 「阿」の右に「阿鬼那」の字あり。  
62 蒲||蒲【大】  
63 唎||唎【大】 大正蔵に校注なし。  
64 茶||茶【大】 大正蔵に校注なし。  
65 憍||憍【大】 大正蔵に校注なし。

(第十紙) T13p327a24~

- 1 尔時世尊復說呪曰
- 2 多地夜<sup>86</sup>地<sup>86</sup> 随伽陁闍 阿婆随伽陁闍 阿婆伽陁闍闍
- 3 捷随捷随闍 蘇婆呵
- 4 說此法門時七十万那由他餓鬼毗舍遮<sup>87</sup>富<sup>87</sup>單
- 5 那迦吒富單那得電王三昧過諸數量天龍
- 6 夜叉乃至迦吒富單那等昔未曾發无上菩
- 7 提心者皆悉發心諸仁者是名第一義布
- 8 施清淨平等
- 9 諸仁者於彼何者戒清淨平等若一切世間
- 10 若出世間善道及涅槃樂戒為根本能安住
- 11 聲聞辟支<sup>88</sup>佛<sup>88</sup>能安住阿耨多羅三藐三菩提
- 12 智此戒清淨平等所謂十善業道休息煞
- 13 生偷盜耶姪妄語兩舌惡口綺語貪瞋耶見
- 14 諸仁者休息煞生獲十種功德何等為十一
- 15 者於諸衆生得无所畏二者於諸衆生得大
- 16 慈心三者斷惡習氣四者少諸病惱為事決
- 17 斷五者得壽命長六者為非人護持七者寤
- 18 寐安隱无諸惡夢八者无諸怨讎<sup>89</sup>九者不畏
- 19 惡道十者身壞命終得生善道諸仁者是名
- 20 休息煞生得十種功德若能以此休息煞生
- 21 善根迴向阿耨多羅三藐三菩提是人不久
- 22 證无上智彼人到菩提時於彼國土離諸害仗
- 23 長壽衆生來生其國
- 24 休息偷盜獲十種功德何等為十一者具大
- 25 果報為事決斷二者所有財物不共他有三

(第十一紙) T13p327b20~

- 1 者不共五家四者衆人愛敬无有馱足五者
- 2 遊行諸方无有留難六者行来无畏七者以
- 3 樂布施八者不求財寶自然速得九者得財
- 4 不散十者身壞命終得生善道諸仁者是名

<sup>86</sup> 「地」の右に「他」の字あり。地||他【大】

<sup>87</sup> 「富」の右に「富」の字あり。富||富【大】

<sup>88</sup> 「佛」の右下に「地」の字あり。佛||佛地【大】

<sup>89</sup> 讎||讎【大】 大正藏に校注なし。

- 5 休息偷盜得十種功德若能以此休息偷盜
- 6 善根迴向阿耨多羅三藐三菩提是人不久
- 7 得无上智彼人到菩提時於彼國土具足種
- 8 種花果樹林衣服纓絡莊嚴之具珍奇寶物
- 9 无不充滿
- 10 休息耶姪獲十種功德何等為十一者得諸
- 11 根律儀為事決斷二者得任離欲清淨三者
- 12 不惱於他四者衆人喜樂五者衆人樂觀六
- 13 者能發精進七者見生死過八者常樂布施
- 14 九者常樂求法十者身壞命終得生善道諸
- 15 仁者是名休息耶姪得十種功德若能以是
- 16 休息耶姪善根迴向阿耨多羅三藐三菩提
- 17 是人不久得无上智彼人到菩提時於彼國
- 18 土无有生臭亦无女根不行姪欲皆悉化生
- 19 「休息妄語獲十種功德何等為十一者衆人
- 20 保任所言皆信二者於一切處乃至諸天發
- 21 言得中三者口出香氣如憂鉢羅花四者於
- 22 人中獨作證明五者衆人愛敬離諸疑惑
- 23 六者常出實語七者心意清淨八者常无諂
- 24 語言必應機九者常多歡喜十者身壞命
- 25 終得生善道諸仁者是名休息妄語得十種

（第十一紙） T13p327c15～

- 1 功德若能以此休息妄語善根迴向阿耨多
- 2 羅三藐三菩提是人不久得无上智彼人到菩
- 3 提時於彼國土无有生臭衆妙寶香常滿其
- 4 國
- 5 休息兩舌獲十種功德何等為十一者身不
- 6 可壞平等二者眷属不可壞平等三者善友
- 7 不壞平等四者信不壞平等五者法不壞平
- 8 等六者威儀不壞平等七者奢摩他不壞平
- 9 等八者三昧不壞平等九者忍不壞平等十
- 10 者身壞命終得生善道諸仁者是名休息兩

<sup>70</sup> 纓絡 || 瓔珞 【大】

<sup>71</sup> 喜 || 喜 【大】 大正藏に校注なし。

<sup>72</sup> 憂 || 憂 【大】

- 11 舌得十種功德若能以此休息兩舌善根迴向
- 12 阿耨多羅三藐三菩提是人不久得无上智
- 13 彼人到菩提時於彼國土所有眷屬一切魔
- 14 怨及他朋黨所不能壞
- 15 休息惡<sup>73</sup>口獲十種功德何等為十一者得柔
- 16 軟語二者捷利語三者合理語四者美潤語
- 17 五者言必得中六者直語七者无畏語八者
- 18 不敢輕陵<sup>74</sup>語九者法語清辯十者身壞命終
- 19 得生善道諸仁者是名休息惡口得十種功
- 20 德若能以此休息惡<sup>75</sup>口善根迴向阿耨多羅
- 21 三藐三菩提是人不久得无上智彼人到菩
- 22 提時於彼國土法聲充遍離諸惡語
- 23 休息綺語獲十種功德何等為十一者天人
- 24 愛敬二者明人随喜三者常樂實事四者不
- 25 為明人所嫌共住不離五者聞言能領六者

(第十一紙) T13p328a12~

- 1 常得尊重愛敬七者常得愛樂阿蘭若處八
- 2 者愛樂賢聖<sup>76</sup>然九者遠離惡人親近賢聖
- 3 十者身壞命終得生善道諸仁者是名休息
- 4 綺語得十種功德若能以此休息綺語善根
- 5 迴向阿耨多羅三藐三菩提是人不久得无
- 6 上智彼人得菩提時於彼國土端正衆生來
- 7 生其國強記不忘樂住離欲
- 8 休息貪欲獲十種功德何等為十一者身根
- 9 不缺二者口業清淨三者意不散亂四者得
- 10 勝果報<sup>77</sup>五者得大富貴六者衆人樂觀七者
- 11 所得果報眷屬不可破壞八者常與明人相
- 12 會九者不離法聲十者身壞命終得生善道
- 13 諸仁者是名休息貪欲得十種功德若能以
- 14 此休息貪欲善根迴向阿耨多羅三藐三菩
- 15 提人<sup>78</sup>人不久得无上智彼人得菩提時於彼

73 「惡」の右に「惡」の字あり。  
 74 「陵」の右に「凌」の字あり。  
 75 「惡」の右に「惡」の字あり。  
 76 嘿=默【大】 大正藏に校注なし。  
 77 「報」の右に「報」の字あり。

- 16 國土離於魔怨<sup>82</sup>諸外道
- 17 休息瞋恚獲十種功德何等為十一者離一
- 18 切瞋二者樂不積財三者衆聖<sup>83</sup>樂四者常
- 19 與賢聖相會五者得利益事六者顏容端正
- 20 七者見衆生樂則生歡喜八者得於三昧九
- 21 者得身口意光澤調柔十者身壞命終得生
- 22 善道諸仁者是名休息瞋恚得十種功德若
- 23 能以此休息瞋恚善根迴向阿耨多羅三藐
- 24 三菩提是人不久得无上智彼人得菩提時
- 25 於彼國土所有衆生悉得三昧來生其國心

(第十四紙) T13p328b07~

- 1 極清淨
- 2 休息耶見獲十種功德何等為十一者心性
- 3 柔善朋侶賢良二者信有業報乃至奪命不
- 4 起諸惡三者敬信三寶設為活命不信天神
- 5 四者得於正見不怪異事亦不簡擇良日吉
- 6 時五者常生人天離諸惡道六者樂<sup>81</sup>福德時
- 7 人共稱<sup>80</sup>譽七者棄俗禮儀常求聖道八者離
- 8 斷常見入因緣法九者常與正趣<sup>83</sup>發心人共
- 9 相會遇十者身壞命終得生善道諸仁者
- 10 是名休息耶見得十種功德若能以此休息
- 11 耶見善根迴向阿耨多羅三藐三菩提是人
- 12 速滿六波羅蜜於善淨佛土而成正覺得菩
- 13 提已於彼佛土功德智慧一切善根莊嚴衆
- 14 生來生其國不信天神離惡道畏於彼命終
- 15 還生善道
- 16 諸仁者於彼行布施清淨平等時於戒休息煞
- 17 生脩平等行具大清淨平等果報得於長
- 18 壽離諸怖畏
- 19 彼行布施清淨平等時於戒休息偷盜脩平

<sup>82</sup> 「人」の右に「是」の字あり。人 || 是【大】

<sup>83</sup> 「怨」の右下に「及」の字あり。怨 || 怨及【大】

<sup>80</sup> 愜 || 愜【大】 大正藏に校注なし。

<sup>81</sup> 「樂」の右上に「常」の字あり。樂 || 常樂【大】

<sup>82</sup> 時人共稱 || 明人讚【大】

<sup>83</sup> 「止」の右に「正」の字あり。止 || 正【大】

- 20 等行具大清淨平等果報不共他有脩一切
- 21 善无有留難
- 22 彼行布施清淨平等時於戒休息耶姪脩平
- 23 等行具大清淨平等果報脩習善根无有留
- 24 難无耶姪念觀自他婦

(第十五紙) T13p328c01~

- 1 彼行布施清淨平等時於戒休息妄語脩平
- 2 等行具大清淨平等果報不被毀謗發心
- 3 堅固如說脩行於天人中獨作證明口出香
- 4 氣如優鉢羅花
- 5 彼行布施清淨平等時於戒休息兩舌脩平
- 6 等行具大清淨平等果報得不壞眷属丈夫
- 7 眷属敬信眷属
- 8 彼行布施清淨平等時於戒休息惡口脩平
- 9 等行得微妙音不聞惡聲
- 10 彼行布施清淨平等時於戒休息綺語脩平
- 11 等行具大清淨平等果報發言得中斷一切
- 12 疑衆生樂見
- 13 彼行布施清淨平等時於戒休息貪欲脩平
- 14 等行具大清淨平等果報受果報已還復能
- 15 捨受解脫果具大勢力
- 16 彼行布施清淨平等時於戒休息瞋恚脩平
- 17 等行具大清淨平等果報顏容端正衆人愛
- 18 敬為事无礙諸根不缺
- 19 彼行布施清淨平等時於戒休息耶見脩平
- 20 等行具大清淨平等果報正見國土正見家
- 21 生常值諸佛菩薩聲聞見佛聞法供養<sup>84</sup>衆僧
- 22 脩菩提行常不捨離清淨平等
- 23 諸仁者此是戒清<sup>85</sup>平等以是戒戒<sup>86</sup>清淨平等
- 24 自莊嚴者是人不久成佛功德具足相好音

(第十六紙) T13p328c25~

<sup>84</sup> 「養」の右に「養」の字あり。

<sup>85</sup> 「清」の右下に「淨」の字あり。清||清淨【大】

<sup>86</sup> 戒戒||戒【大】

- 1 聲清淨降諸魔怨得清淨平等是人不久得
- 2 一切佛法禪念慧行清淨大智大悲乃至能滿一切佛法清淨平等是名世間戒行
- 3 清淨平等處
- 4 諸仁者於彼何者出世間戒行清淨平等處若於戒三摩跋提信解行者不依色陰持戒
- 5 不依受想行識陰持戒不依眼不依色不依眼識不依眼觸不依眼觸因緣生受愛取有生持戒乃至不依意不依法不依意識不依意觸不依意觸因緣生受愛取有生持戒不依地界持戒不依水火風界持戒不依無邊虛空入持戒乃至不依非想非非想入持戒不依欲界色界持戒不依現世後世持戒不依聲聞乘辟支佛乘一切種智持戒不依聞不依禪不依智持戒不依聽力不依三昧力不依陀羅尼力不依忍力不依有漏力不依無漏力不依有為界力不依無為界力不依善不善力不依明闇<sup>87</sup>力持戒諸仁者是名出世間戒清淨平等處是名脩戒梵行<sup>88</sup>聖道能入無上無畏大城衆聖所依戒清淨平等以護第一義清淨戒故能入淨智戒者是何義譬
- 21 如大鐵圍<sup>89</sup>金剛<sup>90</sup>山間熱惱之風以山鄣<sup>91</sup>故不令得至四天下如是學聖清淨平等戒愛熱之風脩四念處故不令得起以是義故名之

（第十七紙） T13p329a20～

- 1 為戒譬如大鐵圍山間臭穢之風以山鄣<sup>92</sup>故不令得至四天下如是護聖清淨平等戒以
- 2 四无所畏故愛取臭穢不令得起以是義故名之為戒譬如大鐵圍山間黑闇以山鄣<sup>93</sup>故不得至四天下如是護聖清淨平等戒无明

<sup>87</sup> 「闇」の右に「闇」の字あり。闇＝闇【大】  
<sup>88</sup> 行＝路【大】  
<sup>89</sup> 「圍」の右に「圍」の字あり。圍＝圍【大】  
<sup>90</sup> 「剛」の右に「剛」の字あり。  
<sup>91</sup> 鄣＝障【大】 大正藏に校注なし。  
<sup>92</sup> 鄣＝障【大】 大正藏に校注なし。  
<sup>93</sup> 鄣＝障【大】 大正藏に校注なし。

6 有為有漏相脩七覺分故不令得起以是義  
 7 故名之為戒離欲義是戒94解脱義是戒義休  
 8 息義是戒義无盡義是戒義滅義是戒95此  
 9 諸句義名為戒義諸仁者是名有為无為戒  
 10 清淨平等若有世間沙門婆羅門住此有為  
 11 无為清淨平等戒者彼人名為世間福田若  
 12 有於彼敬信尊重護持養育給施衣服牀96  
 13 臥具飲食湯藥一切所須是人以此善根乃  
 14 至於流轉時恒受勝報速能得入无畏大城  
 15 諸仁者於彼何者忍清淨平等忍有二種一  
 16 者捨忍二者息怒忍諸仁者於彼何者捨忍  
 17 若有衆生求一切樂息一切苦是名捨忍清  
 18 淨平等若復有人求樂離苦彼人觀於三界  
 19 一切苦道煩惱毒熱唯除聖人是人為己利  
 20 故生大怖畏如是怖畏觀於三界一切熾然  
 21 為諸煩惱大火所燒一一衆生為諸苦害駢  
 22 馳流轉不能自脱如彼為苦所逼未得解脱  
 23 我亦如是為苦所逼以何方便能自脱苦即  
 24 作是念不以餘事我以捨忍解脱諸苦令具

(第十八紙) T13p329b15~

1 諸樂作是念已即便起發以忍知足能捨種  
 2 種資身之具所謂飲食衣服臥具屋宅象97馬  
 3 車98乘隨其所須皆悉給與是人以忍布施欲  
 4 滅諸苦是人數數脩忍知足住時能行捨施  
 5 於正趣正行人應往其所親近供養隨順其  
 6 教以供養故如是如是聞於種種生死過患  
 7 涅槃利益是人或於聲聞乘發心或於緣覺  
 8 乘發心或於大乘發心為己樂故復增忍知  
 9 足護養衆生是名捨忍清淨平等乃至捨外  
 10 資財及自己樂忍受諸苦99他得樂是名捨  
 11 忍清淨平等若有96乞人種種形色種種威儀

<sup>94</sup> 「戒」の右下に「義」の字あり。戒94戒義【大】

<sup>95</sup> 「戒」の右下に「義」の字あり。戒95戒義【大】

<sup>96</sup> 牀96馬車96車馬【大】 大正藏に校注なし。

<sup>97</sup> 馬車97車馬【大】

<sup>98</sup> 「今」の右に「令」の字あり。今98令【大】

- 12 種種音聲種種瞋怒種種罵辱<sup>100</sup>種種欺陵<sup>101</sup>種種
- 13 種<sup>102</sup>種<sup>103</sup>不喜<sup>104</sup>之言來從求索是人如是如是
- 14 心未調柔瞋恚未淨未住淨忍彼作是念誰
- 15 能勝我何以故彼食血肉諸惡夜叉羅刹鳩
- 16 槃<sup>105</sup>茶<sup>106</sup>餓鬼毗舍遮富單那迦吒富單那等未
- 17 聞生死苦惱涅槃功德不觀後世畏眾苦所
- 18 惱未得解脫一切諸苦何以故彼等離善知
- 19 識不聞正法故在生死為苦所溺我已數數
- 20 得聞生死苦惱涅槃功德觀後世畏勤息諸
- 21 苦近善知識得聞正法我今欲渡<sup>107</sup>生死沉溺
- 22 何故起瞋是故我應作是思惟罵辱音聲及
- 23 諸違事皆悉如風我當棄捨不應起瞋如是
- 24 於諸眾生死捨種種想一切文字語言分別

(第十九紙) T13p329c10~

- 1 皆悉如風於諸眾生死種種想脩忍清淨平
- 2 等是人數數於諸眾生死種種想一切文字
- 3 分別想脩忍清淨平等如是如是是人心則
- 4 住忍清淨平等得喜<sup>108</sup>淨如是如是是人脩四
- 5 無礙法無礙義無礙辭<sup>109</sup>無礙樂說無礙是人
- 6 數數脩法無礙乃至樂說無礙是人則能捨
- 7 身皮肉筋骨眼耳鼻舌手足頭等所愛之命
- 8 是菩薩摩訶薩脩分別無分別忍清淨平
- 9 等是名菩薩捨忍清淨平等
- 10 諸仁者於彼何者息怒<sup>110</sup>清淨平等諸仁者若
- 11 菩薩摩訶薩能於一切言語音聲文字捨
- 12 分別想及一切色身形相舉動威儀去來意
- 13 業戲咲<sup>111</sup>捨分別想亦捨一切愛取所攝<sup>112</sup>不求

<sup>99</sup>有<sup>113</sup>見【大】 大正藏に校注なし。

<sup>100</sup>「辱」の右に「辱」の字あり。

<sup>101</sup>「陵」の右に「凌」の字あり。

<sup>102</sup>獮<sup>114</sup>橫【大】

<sup>103</sup>喜<sup>115</sup>意【大】 大正藏に校注なし。

<sup>104</sup>茶<sup>116</sup>茶【大】 大正藏に校注なし。

<sup>105</sup>渡<sup>117</sup>度【大】

<sup>106</sup>「喜」の右下に「得」の字あり。喜<sup>118</sup>喜得【大】

<sup>107</sup>辭(異体字か) || 辭【大】 大正藏に校注なし。

<sup>108</sup>「怒」の右下に「忍」の字あり。怒<sup>119</sup>怒忍【大】

<sup>109</sup>咲<sup>120</sup>笑【大】 大正藏に校注なし。

- 14 果報離於苦樂无分別想乃至於己身命分
- 15 别无分別想得住第一義忍清淨平等譬如
- 16 虛空於明於闇不瞋不喜不分別如是菩薩
- 17 摩訶薩住第一義忍清淨平等一切有為<sup>三</sup>
- 18 戲<sup>二</sup>言語文字形色苦<sup>三</sup>樂受離分別分別
- 19 不瞋不喜菩薩於彼衆生離分別想得住第
- 20 一義忍清淨平等譬如虛空不動不正遍動
- 21 不震不正遍震如是菩薩摩訶薩於一切業
- 22 有為諸行身心不動不正遍動亦復不震不
- 23 正遍震譬如虛空清淨離垢如是菩薩摩訶
- 24 薩住第一義忍清淨平等於彼一切有為身

(第十一紙) T13p330a05~

- 1 心善得清淨譬如虛空長養一切衆生如是
- 2 菩薩摩訶薩住第一義忍清淨平等養育
- 3 一切衆生譬如虛空不為劫火所能燒壞不為
- 4 劫水劫風所壞如是菩薩摩訶薩若住第一
- 5 義忍清淨平等乃至未到无上菩提不為
- 6 貪瞋癡等毀壞其心譬如清淨虛空十五日夜
- 7 極圓滿月普放冷光令熱惱衆生身心涼樂
- 8 如是菩薩摩訶薩住第一義忍清淨平等以
- 9 身口威儀依息衆生諸煩惱熱譬如清淨虛
- 10 空十五日夜極圓滿月衆星圍遶臨四天下
- 11 光明照耀如是菩薩摩訶薩住第一義忍清
- 12 淨平等隨所住處常為天龍乃至迦吒富單
- 13 那等之所圍遶暉顯照曜譬如清淨虛空十
- 14 五日夜極圓滿月照海峯上月愛摩尼從彼
- 15 珠中流出大水能滿大海如是菩薩摩訶薩
- 16 住第一義忍清淨平等所有天龍夜叉羅刹
- 17 鳩槃荼餓鬼毗舍遮富單那迦吒富單那鹿

110 「攝(異体字か)」の右に「攝」の字あり。

111 「為」の右下に「行」の字あり。為<sup>二</sup>為行【大】

112 咲<sup>二</sup>笑【大】 大正蔵に校注なし。

113 「苦」の右下に「受」の字あり。苦<sup>二</sup>苦受【大】

114 「毀」の右に「毀」の字あり。

115 依<sup>二</sup>休【大】

116 曜<sup>二</sup>耀【大】 大正蔵に校注なし。

117 嶋<sup>二</sup>島【大】 大正蔵に校注なし。

- 18 獮<sup>119</sup> 瞋惡无有慈愍於諸衆生不觀後世畏是
- 19 菩薩以第一義忍清淨平等放勝光明照曜<sup>120</sup>
- 20 一切天龍夜叉羅刹乃至迦吒富單那等以
- 21 是令彼天龍夜叉乃至迦吒富單那等悉得
- 22 清淨善心於諸衆生起慈悲心利益心休息
- 23 衆生苦惱心令住一切樂心觀後世畏心離

(第十一紙) T13p330a28~

- 1 一切惡心於一切善法起大精勤心以是彼
- 2 等極得清淨心乃至於一切善法發大勇猛
- 3 心彼等次第漸離一切不善悉得充足一切
- 4 善根能滿大涅槃海諸仁者汝等應當觀
- 5 此菩薩雖未至究竟以住第一義忍清淨平等
- 6 故已得超過聲聞緣覺以第一義忍成熟衆
- 7 生如我昔作忍辱仙人常在林中食諸甘果
- 8 時有國王名曰迦利支解我身而為八段我
- 9 於彼時以能善脩第一義忍故從所割處流
- 10 出白乳以是忍辱苦行因緣成熟无量億那
- 11 由他百千天龍夜叉羅刹<sup>121</sup> 闍婆阿脩羅羅緊
- 12 那羅摩睺羅伽伽樓羅餓鬼毗舍遮富單那
- 13 迦吒富單那等彼時无量億那由他百千人
- 14 非人等悉發阿耨多羅三藐三菩提心我昔
- 15 為人生非難處作此苦行不足為難諸仁者
- 16 汝等諦聽如我往昔生在難處受於菟<sup>122</sup>身止
- 17 住林中為令仙人得於食故即自踊身投大
- 18 火聚以能善脩第一義忍清淨平等故令彼
- 19 火聚變成蓮池<sup>123</sup> 淨水盈滿我於尔時臥花喜<sup>124</sup>
- 20 上以是苦行因緣令此三千大千世界六種
- 21 震動尔時无量釋梵四王天龍夜叉乃至迦
- 22 吒富單那等及諸仙人人非人等以種種供
- 23 具供養於我作是願言汝得阿耨多羅三藐

119 茶<sup>119</sup> 茶【大】 大正藏に校注なし。  
 獮<sup>119</sup> 獮【大】 大正藏に校注なし。  
 120 曜<sup>120</sup> 曜【大】 大正藏に校注なし。  
 121 軋<sup>121</sup> 軋【大】 大正藏に校注なし。  
 122 菟<sup>122</sup> 「菟」の右に「菟」の字あり。菟<sup>122</sup> 兔【大】  
 123 池<sup>123</sup> 「池（異体字か）」の右に「池」の字あり。  
 124 喜<sup>124</sup> 「喜」の右に「臺」の字あり。喜<sup>124</sup> 臺【大】

(第十一紙) T13p330b21~

- 1 三菩提時當與我等授阿耨多羅三藐三菩提
- 2 提記我昔菟<sup>155</sup>身以能善脩第一義忍清淨平等
- 3 等是忍不共聲聞緣覺我於往昔作菟<sup>156</sup>身
- 4 時梵釋天王護世四王天龍夜叉乃至人非人
- 5 等悉以種種香花塗香末香種種寶<sup>157</sup>未<sup>157</sup>寶幢
- 6 幡蓋衆妙音樂尊重讚歎生未曾有而作供
- 7 養今阿羅漢之無所也諸仁者如是菩薩善
- 8 脩第一義忍清淨平等諸仁者是第一義忍
- 9 清淨平等是何句義第一義者謂到生死彼
- 10 岸故名第一義忍者見三界陰究竟空及見
- 11 一切界入究竟空故名為忍清淨者謂以聖
- 12 慧除淨三界諸煩惱道業道苦道故名清淨
- 13 平等者謂以聖慧如實知一切三界行一切
- 14 法性如如實際如實知非如實際非非如實
- 15 際斷一切煩惱道故名平等諸仁者是名菩
- 16 薩第一義忍清淨平等
- 17 諸仁者於彼何者精進清淨平等以精進能
- 18 與布施清淨平等作因是名精進清淨平等
- 19 乃至以精進能與般若清淨平等作因是名
- 20 精進清淨平等以精進能捨一切見以精進
- 21 能與四念處清淨平等作因以精進能超過
- 22 一切聲聞緣覺以精進能與四正勤四如意
- 23 足作因以精進能捨一切煩惱以精進能與
- 24 四攝事四無礙辯四梵住四无色定五根五

(第十一紙) T13p330c17~

- 1 力七覺分八聖道分九次第定如來十力十
- 2 二善有支十八不共法作因以精進能與大
- 3 慈大悲般若清淨平等作因是名精進清淨
- 4 平等以精進能與成熟衆生清淨平等作因
- 5 是名精進清淨平等以精進為集无量佛

<sup>155</sup>菟<sup>155</sup>兔【大】

<sup>156</sup>菟<sup>156</sup>兔【大】

<sup>157</sup>未<sup>157</sup>の右に「未」の字あり。未<sup>157</sup>珠【大】

- 6 法種種善根乃至能集无量方便智无量勝願
- 7 習无量功德智慧與无量種種衆生有生取
- 8 作因是名精進清淨平等以精進居兜率天
- 9 宮觀其時節一生補處乃至以精進捨彼宮
- 10 殿了了知入母胎乃至以精進於藍毗尼林
- 11 從母右脇安隱而出乃至以精進行於七步
- 12 震動大地諸山大海乃至以精進受難陀憂
- 13 波難陀龍王灌水洗浴乃至以精進童子遊
- 14 戲示現一切工巧乃至以精進處在宮中五
- 15 欲不染乃至以精進夜半踰城往詣閑林乃
- 16 至以精進詣憂陀羅迦羅茶迦羅摩仙人所
- 17 而脩供養乃至以精進六年苦行乃至以精
- 18 進於阿耨多羅三藐三菩提而成正覺乃至
- 19 以精進轉於法輪无量人天為證是名精進
- 20 清淨平等我以精進今於佉羅帝山牟尼諸
- 21 仙所依住處作此大集十方所有菩薩摩訶
- 22 薩有如佛土微塵數衆悉令集此有如佛土
- 23 微塵等數諸天龍夜叉羅刹闍婆阿脩羅
- 24 摩睺羅伽伽樓羅緊那羅鳩槃荼餓鬼毗舍

(第十四紙) T13p331a11~

- 1 遮富單那迦吒富單那等悉來大集為聞法
- 2 故是名精進清淨平等諸仁者以四大海水
- 3 分為滂數如彼滂數具脩精進清淨平等能
- 4 令菩薩摩訶薩等滿足毗離耶波羅蜜是名
- 5 精進清淨平等
- 6 大集月藏經卷第五<sup>134</sup>
- 8 皇后藤原氏光明子奉為
- 9 尊考贈正一位太政大臣府君尊妣
- 10

<sup>136</sup> 「母」の右に「母」の字あり。

<sup>139</sup> 「灌」の右に「灌」の字あり。

<sup>138</sup> 茶＝茶【大】 大正蔵に校注なし。

<sup>133</sup> 軋＝軋【大】 大正蔵に校注なし。

<sup>132</sup> 茶＝茶【大】 大正蔵に校注なし。

<sup>133</sup> 離＝梨【大】

<sup>133</sup> 尾題部分に印記あり。

- 11 贈從一位橘氏太夫人敬寫一切經  
論及律莊嚴既了伏願憑斯勝回奉
- 12 資冥助永庇菩提之樹長遊般若之律  
又願上奉 聖朝恒延福壽下及寮
- 13 采共盡忠節又光明子自發誓言弘濟  
沈淪勤除煩障妙窮諸法早契菩提
- 14 乃至傳燈无窮流布天下聞名持卷獲  
福消灾一切迷方會歸覺路
- 15 天平十二年五月一日記
- 16 天平勝寶七歲十月十七日正八位下守少内記林連廣野正  
大安寺沙門琳躰讀
- 17 沙門敬明 沙門玄藏 沙門璟忍 沙門行脩證
- 18 (後補軸付紙)
- 19 昭和九年十月修理
- 20 監督 帝室博物館總長杉 榮三郎 (花押)
- 21 主任 奈良帝室博物館長心得和田軍一 (花押)
- 22 (24紙目紙背) 一校令貴一 ■ ■ 誤 二校大伴 □